

令和6年度第2回鹿児島県学校部活動地域連携等推進協議会 協議概要

1 開催期日

令和7年2月5日（水）午前9時から正午

2 開催場所

白波スタジアム 会議室

3 会次第

(1) 開会

(2) 講話 「部活動地域連携の現状と課題」

京都産業大学現代社会学部健康スポーツ社会学科 與儀幸朝 教授
（前 鹿児島県学校部活動地域連携等推進協議会 委員長）

(3) 報告事項

ア 運動系部活動について

(ア) 県の取組状況

- ・ 対面やオンラインなどによる説明等を行った会議等の報告
- ・ 令和7年度の市町村や地区における研修会等で要請があれば説明を行う旨連絡

(イ) 令和6年度の県内市町村における取組状況について

- ・ 部活動の地域移行を受けた各市町の取組概要の説明

(ウ) 令和6年度 国の事業を使った実証事業の状況について

イ 文化系部活動について

(ア) 県の取組状況

(イ) 令和6年度の県内市町村における取組状況について

ウ 令和7年度地域スポーツ・文化活動推進事業に係る意向調査結果

エ 部活動の地域連携・地域クラブ活動への移行と地域スポーツ環境の整備に関する今後の方向性（スポーツ庁からの情報提供）

オ 令和6年度における部活動に関連する体罰等について

(4) 協議事項

ア 協議会委員（団体）に対する市町村からの意見・質問

イ 関係団体における現状や課題

(ア) 県中学校体育連盟からの報告

(イ) 県中学校教育研究会音楽部会からの報告

ウ 分科会

(ア) 運動系部活動

- ・ 県中学校体育連盟の取組について

(イ) 文化系部活動

- ・ 文化系部活動における取組と課題について

(5) 総括

京都産業大学現代社会学部健康スポーツ社会学科 與儀幸朝 教授

(6) 閉会

4 講話

「部活動地域連携の現状と課題」

京都産業大学 現代社会学部 健康スポーツ社会学科 與儀幸朝 教授

- ・ 地域連携・地域移行のメリット・デメリットについて
- ・ 地域連携・地域移行の課題について
- ・ 他県自治体における状況について
- ・ 社会環境の変化と子どもの体力の関係について

5 報告概要

(1) 運動系部活動について

ア 県の取組状況

- ・ 令和6年度に対面やオンライン会議等にて事業説明等を実施

イ 令和6年度の県内市町村における取組状況

- ・ 令和6年10月に県内全市町村に対して行った調査の結果について
- ・ 部活動の地域移行を受けて発足したクラブチームにおける運営主体、主たる指導者について
- ・ 各市町村における令和6年度の協議会開催状況について
- ・ 各市町村における学校管理職に対する説明状況について
- ・ 地域移行したクラブにおける参加費用について
- ・ 経済的困窮世帯への支援について

ウ 令和6年度 国の事業を使った実証事業の状況

- ・ 鹿児島市，いちき串木野市，枕崎市，南さつま市，出水市，薩摩川内市，長島町，鹿屋市，奄美市，知名町，与論町の11市町で国の事業を使った実証事業を実施。
- ・ 計画では，11市町において56校123の部活動を地域に移行することを目的として取組を推進。

(2) 文化系部活動

ア 県の取組状況

- ・ 令和6年度の国の事業を使った実証事業は，鹿児島市，いちき串木野市，南さつま市，鹿屋市，与論町の4市1町で実施。

イ 令和6年度の県内市町村における取組状況

- ・ 鹿児島市教育委員会の取組についての発表

(3) 令和7年度地域スポーツ・文化活動推進事業に係る意向調査結果

- ・ 県内市町村の令和7年の意向として，実証事業は運動系部活動に12市町，文化系部活動に6市町，部活動指導員の配置は運動系部活動に24市町，文化系部活動に5市町が実施の意向を示している。

(4) 部活動の地域連携・地域クラブ活動への移行と地域スポーツ環境の整備に関する今後の方向性（スポーツ庁からの情報提供）

- ・ 国は，「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」及び，その下に，運動系・文化系それぞれのワーキンググループを設置し，会議を重ねている。
- ・ 「地域移行」という名称は「地域展開」に変更される。

6 協議事項

- (1) 協議会委員（団体）に対する市町村からの意見・質問
 - ・ それぞれの団体において話題にさせていただくよう依頼。
- (2) 関係団体における現状や課題
 - ア 県中学校体育連盟から
 - ・ 令和5年度から認めている中学校総合体育大会におけるクラブチームの参加に関する説明及び課題とその対応を進めている。
 - イ 県中学校教育研究会音楽部会から
 - ・ 音楽系については、進捗度合いが低く、それぞれの市町村の状況を現場の教師が理解していない。
 - ・ 活動場所や楽器の管理を考えると、学校が中心となる。
- (3) 分科会（運動系部活動・文化系部活動）
別紙参照